景 気 動 向 指 数 速 報 か ら の 改 訂 状 況 (令和 4 (2022)年11月分)

令 和 5 (2023) 年 1 月 25 日 経 済 社 会 総 合 研 究 所 景 気 統 計 部

	11月分CI(平成	27(2015)年=100)
	速報	改訂
先行指数	97. 6	97. 4
一致指数	99. 1	99. 3
遅行指数	100. 9	99. 8

	3 か月後方移動平均値								
	速報 改訂								
先行指数	98. 1	98. 1							
一致指数	99.8	99. 9							
遅行指数	99. 7	99. 3							

	7 か月後方移動平均値							
	速報 改訂							
先行指数	99. 5	99. 5						
一致指数	99. 4	99. 4						
遅行指数	98. 4	98. 2						

	前月差(ポイント)									
	速報	改訂								
先行指数	-1.0	-1. 2								
一致指数	-0. 5	-0. 3								
遅行指数	1. 7	0. 7								

	3か月後方移動平均値の前月差(ポイント)								
	速報 改訂								
先行指数	-1.34 -1.4								
一致指数	-0. 74	-0. 67							
遅行指数	0. 73	0. 37							

	7か月後方移動平均値の前月差(ポイント)							
	速報 改訂							
先行指数	-0. 69	-0. 71						
一致指数	0. 30	0. 32						
遅行指数	0. 66	0. 50						

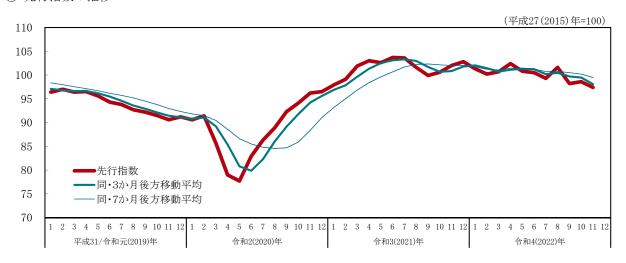
基調判断:景気動向指数(CI一致指数)は、改善を示している。

(注) 景気動向指数<速報>から<改訂>に伴う個別系列の変更は、最終頁を参照。

令和4(2022)年12月分速報の公表は令和5(2023)年2月7日(火)の予定です。

1. C I 先行指数の動向

① 先行指数の推移



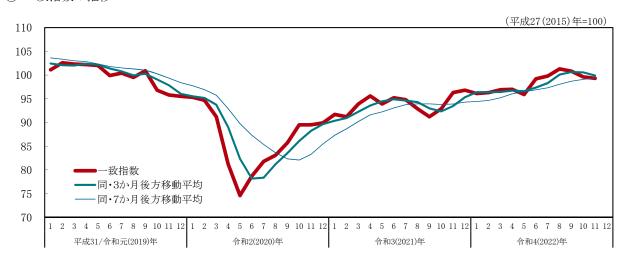
② 先行指数採用系列の寄与度

		令和4(2022)	年				
		6月	7月	8月	9月	10月	11月
CI先行指数		100.5	99. 3	101.6	98. 2	98.6	97.4
	前月差(ポイント)	-0.3	-1. 2	2.3	-3. 4	0.4	-1.2
L1 最終需要財在庫率指数	前月差	-5. 7	7. 2	-6.8	9.8	-13. 1	4.6
	寄与度(逆サイクル)	0.56	-0.62	0.67	-0.84	0.73	-0.44
L2 鉱工業用生産財在庫率指数	前月差	0.9	0.0	-0.8	5. 5	-0.2	0.7
	寄与度(逆サイクル)	-0.07	0.05	0.17	-0.72	0.09	-0.04
L3 新規求人数(除学卒)	前月比伸び率(%)	-1.7	3. 1	-3.3	-0.3	1.4	3.0
	寄与度	-0. 23	0.32	-0.41	-0.06	0.14	0.34
L4 実質機械受注(製造業)	前月比伸び率(%)	4.8	-6. 1	9.9	-8.5	-6.9	-9. 4
	寄与度	0.14	-0.21	0.29	-0.28	-0.24	-0.33
L5 新設住宅着工床面積	前月比伸び率(%)	0.1	-1.0	6.8	-4. 6	1.6	-3. 5
	寄与度	0.03	-0.04	0.41	-0.27	0.12	-0.21
L6 消費者態度指数	前月差	-2.0	-1.9	2.3	-1.7	-0.9	-1.3
	寄与度	-0.61	-0.61	0.83	-0.54	-0.28	-0.42
L7 日経商品指数(42種総合)	前月比伸び率(%)	1. 1	-1.0	0.3	-0.7	0.6	0.8
	寄与度	0.09	-0.29	-0.05	-0.23	0.02	0.04
L8 マネーストック(M2)(前年同月比)	前月差	0.2	0.1	0.0	-0.1	-0.2	0.0
	寄与度	0.17	0.09	0.02	-0.06	-0.15	0.02
L9 東証株価指数	前月比伸び率(%)	0.9	0.7	2.9	-2.1	-1.4	3.8
	寄与度	0.04	0.02	0. 14	-0.13	-0.09	0.22
L10 投資環境指数(製造業)	前月差	-0.07	0.17	0.05	0.08		
	寄与度	-0. 08	0.16	0.04	0.07		
L11 中小企業売上げ見通しD I	前月差	-5. 9	-1.2	2.3	-6. 6	1.9	-6. 4
	寄与度	-0.34	-0.06	0. 14	-0.37	0.13	-0.38
一致指数トレンド成分							
	寄与度	-0.00	0.02	0.02	0.02	-0.00	-0.03
-							
3か月後方移動平均		101. 2	100.2	100.5	99. 7	99. 5	98. 1
	前月差(ポイント)	-0.07	-1.03	0.27	-0.77	-0.23	-1.40
7か月後方移動平均		101. 2	100.7	100.8	100.5	100.2	99. 5
<u> </u>	前月差(ポイント)	-0. 22	-0.50	0.05	-0.29	-0.30	-0.71

⁽注) 逆サイクルとは、指数の上昇、下降が景気の動きと反対になることをいう。「L1 最終需要財在庫率指数」及び「L2 鉱工業用生産財在庫率指数」は逆サイクルとなっており、したがって、指数の前月差がプラスになれば、C I 先行指数に対する寄与度のマイナス要因となり、逆に前月差がマイナスになれば、プラス要因になる。

2. C I 一致指数の動向

① 一致指数の推移



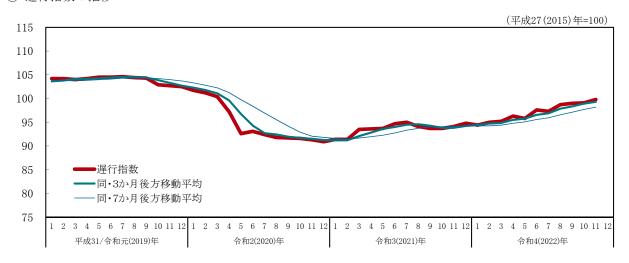
② 一致指数採用系列の寄与度

		令和4(2022)	年				
		6月	7月	8月	9月	10月	11月
CI一致指数		99. 2	99.8	101.3	100.8	99.6	99. 3
	前月差(ポイント)	3. 3	0.6	1. 5	-0.5	-1.2	-0.3
C1 生産指数(鉱工業)	前月比伸び率(%)	9. 2	0.8	3. 4	-1.7	-3.2	0.2
	寄与度	0.62	0.10	0.42	-0.22	-0.43	0.03
C2 鉱工業用生産財出荷指数	前月比伸び率(%)	6. 1	-0.1	0.6	-1.2	0.4	-0.3
	寄与度	0.62	-0.01	0.08	-0. 15	0.06	-0.04
C3 耐久消費財出荷指数	前月比伸び率(%)	15. 5	7.8	0.2	-0.6	-2.3	6.9
	寄与度	0.74	0.45	0.02	-0.03	-0.16	0.42
C4 労働投入量指数(調査産業計)	前月比伸び率(%)	2.8	-3. 1	1.6	0.9	-2.1	0.4
-	寄与度	0. 32	-0.35	0.19	0.10	-0. 28	0.05
C5 投資財出荷指数(除輸送機械)	前月比伸び率(%)	6.8	4.0	3.5	-3.6	-3. 1	-2. 7
	寄与度	0.60	0.37	0.33	-0.35	-0.32	-0. 28
C6 商業販売額(小売業)(前年同月比)	前月差	-2.2	0.9	1.7	0.7	-0.4	-1. 9
	寄与度	-0. 11	0.08	0.16	0.07	-0.04	-0. 19
C7 商業販売額(卸売業)(前年同月比)	前月差	-1.8	-3. 0	4.0	-1.3	-2.8	-1.3
	寄与度	-0.08	-0. 20	0. 27	-0.09	-0. 21	-0. 10
C8 営業利益(全産業)	前月比伸び率(%)	1. 3	-1. 3	-1.3	-1.3		
	寄与度	0. 11	-0. 10	-0. 11	-0. 11	0.01	0.00
C9 有効求人倍率(除学卒)	前月差	0.03	0.02	0.03	0.02	0.01	0.00
LA ALARA HARA	寄与度	0.37	0. 25	0. 37	0. 25	0.14	0.01
C10 輸出数量指数	前月比伸び率(%)	1. 5	0. 3	-3. 2	0.2	0.9	-2.0
	寄与度	0.12	0.02	-0.27	0.02	0.09	-0. 19
0.) 17 1/4 1-7/14 1-7/14		1 05 4	00.0	100.1	100.0	100.0	00.0
3か月後方移動平均	V. E 34 () 2 3	97. 4	98. 3	100. 1	100.6	100.6	99. 9
a) B // 1444 37 15	前月差(ポイント)	0.77	0. 93	1.80	0. 53	-0.06	-0.67
7か月後方移動平均	V. E 34 () 2 3	96. 9	97. 3	98. 1	98. 7	99. 1	99. 4
	前月差(ポイント)	0.42	0.42	0.75	0.64	0.39	0.32

⁽注) CIはトレンド(長期的趨勢)と、トレンド周りの変化を合成し作成されるが、トレンドの計算に当たっては、現時点で未発表の系列(前月比伸び率(%)又は前月差が未記入である系列)についても、過去のデータから算出(60か月から欠落月数を引いた後方移動平均)した長期的傾向(トレンド成分)を使用している。そのため、現時点で未発表の系列にもトレンドによる寄与度を表示している。

3. C I 遅行指数の動向

① 遅行指数の推移



② 遅行指数採用系列の寄与度

		令和4(2022)	年				
		6月	7月	8月	9月	10月	11月
CI遅行指数		97.6	97.3	98. 7	99. 0	99. 1	99.8
	前月差(ポイント)	1.8	-0.3	1.4	0.3	0.1	0.7
Lg1 第3次産業活動指数	前月比伸び率(%)	1.1	-2.9	1.0	0.0	0.0	-0.1
(対事業所サービス業)	寄与度	0.14	-0.33	0.12	0.00	0.00	-0.01
Lg2 常用雇用指数(調査産業計)	前月差	0.3	0.0	0. 1	0.1	-0.1	0.2
(前年同月比)	寄与度	0.32	0.04	0.13	0.13	-0.07	0.26
Lg3 実質法人企業設備投資(全産業)	前月比伸び率(%)	0.8	0.4	0.4	0.4		
	寄与度	0.09	0.04	0.04	0.05		
Lg4 家計消費支出(勤労者世帯、名目)	前月差	7.8	-2.0	4.7	-3.4	-1.1	-3.8
(前年同月比)	寄与度	0.39	-0.11	0.22	-0.19	-0.07	-0.23
Lg5 法人税収入	前月比伸び率(%)	8.8	-6. 1	21. 5	-14.0	-1.3	24.0
	寄与度	0. 27	-0.17	0.55	-0.34	-0.02	0.55
Lg6 完全失業率	前月差	-0.01	-0.04	-0.02	0.11	-0.06	-0.07
	寄与度(逆サイクル)	0.01	0.06	0.03	-0. 18	0.11	0.12
Lg7 きまって支給する給与(製造業、名目)	前月比伸び率(%)	0.3	-0.1	-0.5	0.3	0.1	-0.3
	寄与度	0.12	-0.05	-0.22	0.13	0.05	-0.15
Lg8 消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)	前月差	0.1	0.2	0.4	0.2	0.6	0.1
(前年同月比)	寄与度	0.08	0. 17	0.36	0.17	0.34	0.08
Lg9 最終需要財在庫指数	前月比伸び率(%)	3. 1	0.5	1.8	4.4	-2.0	0.6
	寄与度	0.33	0.06	0.20	0.46	-0.23	0.08
一致指数トレンド成分							
	寄与度	-0.00	0.02	0.01	0.02	-0.00	-0.03
3か月後方移動平均		96.6	96. 9	97. 9	98.3	98. 9	99. 3
	前月差(ポイント)	0.80	0.33	0.97	0.46	0.60	0.37
7か月後方移動平均		95.6	95. 9	96.6	97.1	97. 7	98. 2
	前月差(ポイント)	0.50	0.35	0.62	0.57	0.56	0.50

⁽注1) 「Lg5 法人税収入」には還付金が含まれている。

⁽注2) 逆サイクルとは、指数の上昇、下降が景気の動きと反対になることをいう。「Lg6 完全失業率」は逆サイクルとなっており、したがって、指数の前月差がプラスになれば、CI遅行指数に対する寄与度のマイナス要因となり、逆に前月差がマイナスになれば、プラス要因になる。

個別系列の数値

		系 列 名	単位				令和4(2	2022)年			
				4	5	6	7	8	9	10	11
	1	最終需要財在庫率指数(逆サイクル)	2015年=100	120. 9	126. 9	121. 2	128. 4	121. 6	131. 4	118. 3	122. 9
	2	鉱工業用生産財在庫率指数(逆サイクル)	2015年=100	114. 6	116.9	117.8	117.8	117. 0	122. 5	122. 3	123. 0
先	3	新規求人数(除学卒)	人	876, 136	880, 820	865, 444	892, 387	863, 037	860, 184	872, 015	898, 447
	4	実質機械受注(製造業)	百万円	494, 944	445, 933	467, 167	438, 792	482, 393	441, 197	410, 975	372, 183
	5	新設住宅着工床面積	∓ m²	5, 929	5, 638	5, 646	5, 591	5, 970	5, 697	5, 790	5, 589
行	6	消費者態度指数		33. 0	34. 1	32. 1	30. 2	32. 5	30.8	29. 9	28. 6
	7	日経商品指数(42種総合)	1970年=100	247. 534	247. 872	250. 630	248. 184	248. 932	247. 193	248. 716	250. 600
系	8	マネーストック(M2)(前年同月比)	%	3. 4	3. 1	3. 3	3. 4	3. 4	3. 3	3. 1	3. 1
/	9	東証株価指数		1902. 34	1879. 00	1895. 96	1908. 46	1964. 16	1922. 22	1894. 99	1967. 73
	10	投資環境指数(製造業)		4. 08	3. 99	3. 92	4. 09	4. 14	4. 22		
列		総資本営業利益率(製造業)	%	4. 30	4. 23	4. 15	4. 27	4. 36	4. 46		
		新発10年物国債利回り	%	0. 22	0. 24	0. 23	0. 18	0. 22	0. 24	0. 25	0. 25
	11	中小企業売上げ見通しDI		10. 8	9. 5	3. 6	2. 4	4. 7	-1.9	0.0	-6. 4

	系 列 名		単位				令和4(2	2022)年			
				4	5	6	7	8	9	10	11
	1	生産指数(鉱工業)	2015年=100	95. 1	88. 0	96. 1	96. 9	100. 2	98. 5	95. 3	95. 5
 _	2	鉱工業用生産財出荷指数	2015年=100	95. 4	89. 2	94. 6	94. 5	95. 1	94. 0	94. 4	94. 1
	3	耐久消費財出荷指数	2015年=100	78. 8	67.0	77.4	83. 4	83. 6	83. 1	81. 2	86.8
致	4	労働投入量指数(調査産業計)	2020年=100	104. 4	102.0	104. 9	101. 7	103. 3	104. 2	102. 0	102. 4
- L	5	投資財出荷指数(除輸送機械)	2015年=100	101. 1	97. 5	104. 1	108. 3	112. 1	108. 1	104. 8	102. 0
系	6	商業販売額(小売業)(前年同月比)	%	3. 1	3. 7	1.5	2. 4	4. 1	4. 8	4. 4	2. 5
术	7	商業販売額(卸売業)(前年同月比)	%	6. 7	10.6	8.8	5.8	9. 8	8. 5	5. 7	4. 4
l	8	営業利益(全産業)	億円	167, 011	169, 228	171, 444	169, 283	167, 122	164, 961		
列	9	有効求人倍率(除学卒)	倍	1. 23	1. 24	1. 27	1. 29	1. 32	1. 34	1. 35	1. 35
	10	輸出数量指数	2015年=100	98. 9	100.6	102. 1	102. 4	99. 1	99. 3	100. 2	98. 2

⁽注) 「8 営業利益(全産業)」は四半期データであるが、月次のCIを計算するため四半期に該当する3か月のそれぞれの変化量を等しいとして線形補間している (4-6月期分であれば6月分に四半期値を代入)。なお、DI算出には、当該四半期値(3,6,9,12月分の値)を用いる。

		系 列 名	単位				令和4(2	2022)年			
				4	5	6	7	8	9	10	11
	1	第3次産業活動指数(対事業所サービス業)	2015年=100	104. 8	105.8	107. 0	103. 9	104. 9	104. 9	104. 9	104.8
遅	2	常用雇用指数(調査産業計)(前年同月比)	%	-1. 1	-0.9	-0.6	-0.6	-0. 5	-0.4	-0. 5	-0. 3
~-	3	実質法人企業設備投資(全産業)	億円	115, 617	116, 545	117, 474	117, 943	118, 412	118, 881		
行	4	家計消費支出(勤労者世帯、名目) (前年同月比)	%	1. 6	-0. 9	6. 9	4. 9	9. 6	6. 2	5. 1	1. 3
	5	法人税収入	億円	13, 771	12, 609	13, 721	12, 878	15, 642	13, 448	13, 277	16, 464
系	6	完全失業率(逆サイクル)	%	2. 54	2. 60	2. 59	2. 55	2. 53	2. 64	2. 58	2. 51
	7	きまって支給する給与(製造業、名目)	2020年=100	102. 9	102.6	102. 9	102.8	102. 3	102. 6	102. 7	102. 4
列	8	消費者物価指数(生鮮食品を除く総合) (前年同月比)	%	2. 1	2. 1	2. 2	2. 4	2. 8	3. 0	3. 6	3. 7
	9	最終需要財在庫指数	2015年=100	95. 0	92. 8	95. 7	96. 2	97. 9	102. 2	100. 2	100.8

⁽注) 1. 「5 法人税収入」には還付金が含まれている。 2. 「3 実質法人企業設備投資(全産業)」は四半期データであるが、月次のCIを計算するため四半期に該当する3か月のそれぞれの変化量を等しいとして 線形補間している(4-6月期分であれば6月分に四半期値を代入)。なお、DI算出には、当該四半期値(3,6,9,12月分の値)を用いる。

景気動向指数<速報>から<改訂>に伴う個別系列の変更は、以下のとおり。

【先行系列】

① 改訂から新たに加わった個別系列

	·	改訂内容(百万円)		備考
	术 列	速報	改訂	7/用/与
L4	実質機械受注(製造業)	_	372, 183	

② 速報値から確報値になった個別系列

	系列	改訂内容		備考
	ポ グリ	速報	改訂	1
L1 最終需要財在庫率指数		122. 9	122. 9	
L2 鉱工業用生産財在庫率指数		123. 0	123. 0	
L8 マネーストック(M2)(前年同月比)		3. 1	3. 1	

【一致系列】

① 改訂から新たに加わった個別系列

	系 列	改訂内容		備考
	术 列	速報	改訂	加考
C4	労働投入量指数(調査産業計)	_	102. 4	

② 速報値から確報値になった個別系列

	系列	改訂内容		備考
	ポージ!	速報	改訂	畑 与
C1	生産指数(鉱工業)	95. 2	95. 5	
C2 鉱工業用生産財出荷指数		94. 1	94. 1	
C3 耐久消費財出荷指数		86.8	86. 8	
C5 投資財出荷指数(除輸送機械)		102. 1	102. 0	
C6 商業販売額(小売業)(前年同月比)		2.6	2.5	
С7	商業販売額(卸売業)(前年同月比)	3.9	4.4	

【遅行系列】

① 改訂から新たに加わった個別系列

301 10 30 (10 to 20 to 2				
	系 列	改訂内容		備考
	系 列	速報	改訂	1佣 与
Lg1	第3次産業活動指数(対事業所サービス業)	_	104.8	令和4(2022)年10月分以降で遡及改訂。
Lg2	常用雇用指数(調査産業計)(前年同月比)	_	-0.3	
Lg4	家計消費支出(勤労者世帯、名目)(前年同月比)	_	1.3	
Lg7	きまって支給する給与(製造業、名目)	_	102. 4	

② 速報値から確報値になった個別系列

	系	列	改訂内容		備考
			速報	改訂	畑 与
Lg9	最終需要財在庫指数		100.8	100.8	

(使用上の注意)

- ・公表日の1営業日前(令和5(2023)年1月24日(火))までに公表された値を用いて算出した。
 ・DIの数値については、ホームページ(https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/di.html)を参照のこと。なお、以下の理由により、CI及びDIはともに遡及改訂されている。
 ・「Lg1 第3次産業活動指数(対事業所サービス業)」が令和4(2022)年10月分以降で遡及改訂。